



株 主 の 皆 様 へ

第108期
報 告 書

平成 28 年 4 月 1 日

▼
平成 29 年 3 月31日

 愛知電機株式会社

証券コード：6623



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第108期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

事業の概況

当期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けておりますが、中国経済の成長鈍化や米国の新政権の政策動向などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの経営環境につきましては、配電系統高度化関連製品の需要が好調であったことや、ハーメティックモータ、プリント配線板の需要が下期から回復してきたことなどにより、総じて良好に推移しました。

このような環境の中、当社グループは平成28年度から平成30年度までの中期経営計画2018「確かな技術で未来をひらく」をスタートさせ、製品・事業の拡

大と経営基盤の強化への取り組みを推進してまいりました。製品・事業の拡大では、中大型変圧器の生産力強化、国内生産シフトや生産性向上活動による原価低減、自動電圧調整器などの販売促進などを行ってまいりました。経営基盤の強化では、人事諸制度の改正、基礎技術・新技術の拡充、業務情報の見える化などに取り組んでまいりました。

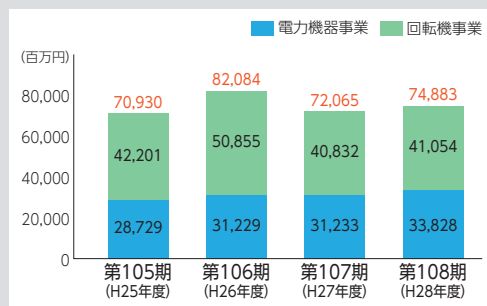
以上の結果、連結業績につきましては、電力機器事業が好調に推移したことを受けて、増収増益となりました。売上高は前期に比べ3.9%増の748億8千3百万円、経常利益は前期に比べ52.8%増の72億3千1百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に比べ83.8%増の52億9千3百万円となりました。

配当について

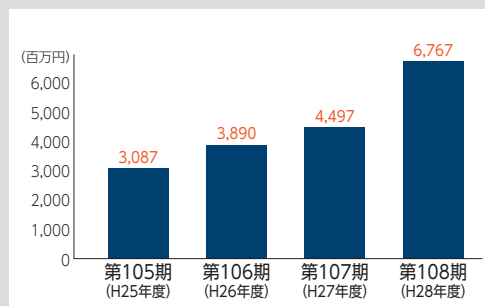
期末配当につきましては、創立75周年の記念配当25円を加え、1株につき65円とさせていただきます。これにより、中間配当金を加えた通期の配当金は、1株につき100円※となります。

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。これにより、併合前の1株当たり中間配当金7円は、併合後では35円に換算されます。

売上高 74,883百万円



営業利益 6,767百万円



新製品・新事業への取り組み状況

電力機器事業では、再生可能エネルギーの普及拡大や電力システム改革の進行に伴う市場動向を見据え、バイオガス発電システムや新型の自動電圧調整器などを重点開発項目として取り組んでまいりました。また、TVR（三相不平衡対応型自動電圧調整器）やSTATCOM（自励式無効電力補償装置）の販売に注力してまいりました。

回転機事業では、今後の需要拡大が期待されるアクチエータ、インバータの拡充に努めてまいりました。アクチエータについては、入浴支援装置用や昇降用の製品化などを進めてまいりました。インバータについては、各種エアコン用のインバータモジュールの製品化などに取り組んでまいりました。

今後の見通し

今後につきましては、電力機器事業では配電系統高度化関連製品の需要が期待されますが、電力システム改革を背景に電力会社の設備投資・経費の抑制が進む

と予想されます。また、回転機事業では中国市場の成長鈍化に伴う受注競争の激化や顧客の内製化推進が懸念されております。このように、当社グループを取り巻く経営環境は、先行き不透明かつ厳しくなるものと思われます。

こうした環境変化に対応すべく、当社グループは、中期経営計画で掲げた製品分野戦略と経営基盤強化戦略を着実に推進し、持続的成長を目指してまいります。この度、その一環として、一般市場向け製品の販売拡大を目的に、当社は販売子会社である愛電商事株式会社を平成29年10月に吸収合併することといたしました。

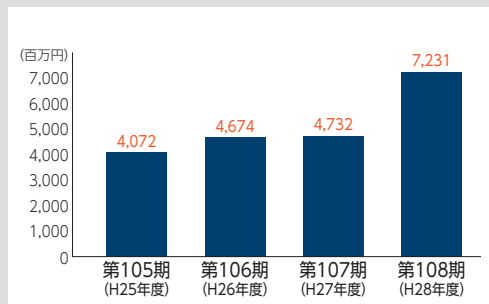
当社はおかげさまでこの5月に創立75周年の節目を迎えました。これを新たなスタートの年として、メーカとしての総合技術力を確立して、信頼される100年企業を目指してまいります。

平成29年6月

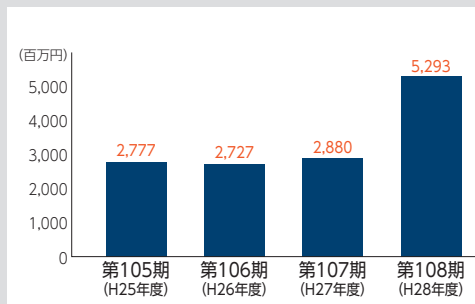
代表取締役社長

佐藤 徹

経常利益 7,231百万円



親会社株主に帰属する当期純利益 5,293百万円

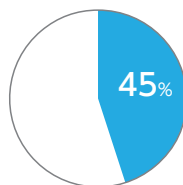


■電力機器事業 売上高33,828百万円

事業内容

柱上変圧器から超高压変圧器までの大・中・小型変圧器や電力用制御機器の開発・製造、太陽光発電システムや電力設備の各種プラント工事を通じ、電力インフラを支えています。

売上高構成比



当期の概況

電力機器事業の売上高は、前期と比べ8.3%増の338億2千8百万円となりました。小型変圧器が減少しましたが、制御機器や自動電圧調整器が前期から引き続き堅調に推移したことに加え、大型変圧器が大幅に増加したことにより、前期を上回る結果となりました。

売上高推移(単位:百万円)



主要製品



柱上変圧器



トップランナー変圧器



自動電圧調整器



負荷時タップ切替変圧器



デジタル式監視制御装置



パワーコンディショナ



プラント工事

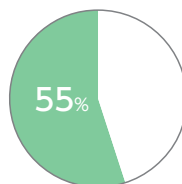
■回転機事業

売上高41,054百万円

事業内容

電動ベッド用アクチエータ・駆動用制御装置、エアコン用ハーメティックモータなどの各種小型モータ、プリント配線板、シャッター開閉機など、身近で活躍する製品を社会に提供しています。

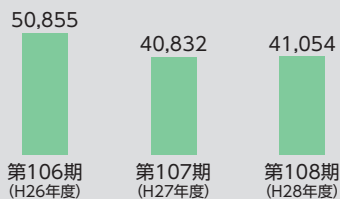
売上高構成比



当期の概況

回転機事業の売上高は、前期と比べ0.5%増の410億5千4百万円となりました。住設機器が前期を下回りましたが、ハーメティックモータ、プリント配線板が下期に入り持ち直してきたことにより、前期並みの結果となりました。

売上高推移(単位:百万円)



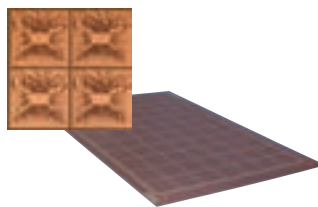
主要製品



アクチエータ・駆動用制御装置



ハーメティックモータ



プリント配線板



シャッター開閉機



粉体混合機・乾燥機



畜舎用換気扇・コントローラ

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末 平成29年3月31日現在	前期末 平成28年3月31日現在	負債純資産の部	当期末 平成29年3月31日現在	前期末 平成28年3月31日現在
流動資産	61,927	59,633	負債の部		
固定資産	24,800	25,273	流動負債	26,148	26,053
有形固定資産	16,012	17,152	固定負債	12,095	14,311
無形固定資産	174	204	負債合計	38,243	40,365
投資その他の資産	8,613	7,917	純資産の部		
			株主資本	46,074	41,818
			その他の包括利益累計額	1,830	2,185
			非支配株主持分	579	537
			純資産合計	48,484	44,541
資産合計	86,728	84,907	負債純資産合計	86,728	84,907

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当 期 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで	前 期 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで
売上高	74,883	72,065
売上原価	60,921	60,724
売上総利益	13,961	11,341
販売費及び一般管理費	7,193	6,843
営業利益	6,767	4,497
営業外収益	796	593
営業外費用	332	357
経常利益	7,231	4,732
特別利益	6	1
特別損失	51	59
税金等調整前当期純利益	7,186	4,674
法人税、住民税及び事業税	2,362	1,620
法人税等調整額	△ 542	146
当期純利益	5,365	2,907
非支配株主に帰属する当期純利益	71	27
親会社株主に帰属する当期純利益	5,293	2,880

個別貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末 平成29年3月31日現在	前期末 平成28年3月31日現在	負債純資産の部	当期末 平成29年3月31日現在	前期末 平成28年3月31日現在
流動資産	33,631	32,138	負債の部		
固定資産	20,045	20,140	流動負債	13,198	13,231
有形固定資産	7,473	7,684	固定負債	4,295	6,087
無形固定資産	18	26	負債合計	17,494	19,318
投資その他の資産	12,553	12,430	純資産の部		
			株主資本	35,128	32,127
			評価・換算差額等	1,054	833
			純資産合計	36,182	32,960
資産合計	53,677	52,279	負債純資産合計	53,677	52,279

個別損益計算書

(単位:百万円)

	当 期 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで	前 期 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで
売上高	39,266	36,692
売上原価	30,458	29,841
売上総利益	8,808	6,851
販売費及び一般管理費	3,375	3,027
営業利益	5,432	3,823
営業外収益	404	371
営業外費用	119	129
経常利益	5,717	4,066
特別利益	0	0
特別損失	39	25
税引前当期純利益	5,678	4,041
法人税、住民税及び事業税	2,042	1,333
法人税等調整額	△ 402	81
当期純利益	4,038	2,625

電力機器関連

新製品 移動式変電所の納入

平成29年3月、新製品の移動式変電所を中部電力（株）殿に納入しました。

本製品は、電力会社の配電用変電所の変電機器一式を2台のトラックに搭載したものです。自然災害などにより変電所が故障し、送電が停止した際の早期の送電復旧に貢献する製品です。特長は次のとおりです。

- ・ 通行申請不要で高機動力

総質量20トン超の車両通行は、道路管理者に事前申請し許可を得る必要があります。本製品は1台当たり20トン以下に軽量化し、申請不要としました。

- ・ 現地での接続作業を省力化

緊急時に現地ですぐ使えるよう、2台のトラック間のケーブル接続にはワンタッチ接続可能なコネクタ方式を採用しました。

- ・ 雨天時の作業に配慮

キュービクル車に可動式ウイング構造を採用しており、ウイングが屋根代わりになるため、雨天時の作業性に優れています。



キュービクル車



変圧器車

電力機器関連

バイオガス発電用コンバータの開発

バイオガス発電用のコンバータを開発しました。

バイオガス発電は、食品廃棄物や家畜糞尿などの有機ゴミからバイオガスを生成し、そのバイオガスを燃料として発電機で発電する方式です。発電した交流電力は、系統連系用のパワーコンディショナを介して、配電系統に送電されます。

今回開発したコンバータは、発電した交流電力を、パワーコンディショナの入力に適合するように、直流電力に変換するための装置です。発電機の仕様にあわせて3機種（30kW、50kW、60kW）を用意しました。



電力機器関連

三相電圧不平衡対応機能付きTVRの開発

三相電圧不平衡対応機能付きTVR（※）を開発しました。

近年、太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用した分散型電源の配電系統への接続が増えています。これらは単相の低圧配電線に接続されることも多く、その影響で配電線の三相電圧不平衡が増大しつつあります。

今回、三相電圧不平衡の改善を目的に、三相電圧不平衡対応機能付きのTVRを開発しました。

従来のTVRは、サイリスタ式タップ切換器を三相一括で動作させて電圧調整しており、三相電圧不平衡には対応できないものでした。

それに対し、三相電圧不平衡対応機能付きTVRは、タップ切換器を各相個別に動作させることにより、三相電圧不平衡改善を可能としました。

本装置によって、配電系統の電圧品質の向上に貢献していきます。

（※） TVR : Thyristor type Step Voltage Regulator



電力機器関連

パームヤシ油入り変圧器の開発

絶縁油にパームヤシ油を採用した変圧器（10～2,000kVA）を開発しました。

近年、産業界においても環境保全に対する意識が高まっています。当社では環境配慮製品として、省エネ法で規定するトップラナー変圧器2014を製造しています。今回、さらに環境保全に貢献する製品として、パームヤシ油入り変圧器を開発しました。

本製品は、植物系のパームヤシ脂肪酸エステルを絶縁油に採用しました。この油は生分解性が良好であり、万一、漏れた場合でも、微生物によって容易に水と二酸化炭素に分解されるため安心です。また、原料となるパームヤシの木が成長する過程で大気中の二酸化炭素を吸収することで地球温暖化の防止効果が得られます。

平成28年11月に、初号機（500kVA）をライオン（株）殿に納入しました。今後も環境意識の高いお客さまを中心に拡販していきます。



電力機器関連

配電自動化システム 5G親局装置の開発

新世代の配電自動化システム親局装置（5G親局※）を開発しました。

配電自動化システム親局は、電力会社の営業所に設置され、配電系統に設置された自動開閉器や子局装置を遠隔で監視・制御する装置です。電気工事に伴う電気の流れの計画的な切替えや、事故等突発的な停電発生時の事故区間外への自動送電などを行っています。

今回開発した5G親局は、国内で初めてスマートメータ情報を活用し、これまで把握できなかった配電線断線故障の検出や、配電線の充停電区間表示の細分化による故障箇所特定の狭小化を実現しました。これにより、公衆保安の向上や故障復旧の迅速化が図れました。

また、子局装置との通信の高速化（IP化）を実現し、配電系統状態のリアルタイム把握が可能となり、故障箇所切離し時間の短縮ができました。

平成29年2月に初号機を納入しました。現在、電力会社の5事業所で運転されています。

（※）5G親局：第5世代（Generation）親局



5G親局装置（サーバ装置、操作端末）

回転機関連

高効率畜舎用換気扇の販売

高効率の畜舎用換気扇を開発し、平成28年7月、主に北海道地区から販売を開始しました。

畜舎用換気扇は、良質な家畜を育てるため、牛舎や豚舎などの換気や乾燥・暑熱対策に利用されています。

今回開発した換気扇は、モータ効率を向上させ、従来機種に比べ17%の省エネと18%の薄型化（264mm→216mm）を実現しました。

さらに、換気扇の運転・停止を制御する既設のコントローラと互換性を持たせ、換気扇の増設や置き換えにも対応できるようにしました。



■会社概要（平成29年3月31日現在）

愛知電機株式会社 AICHI ELECTRIC CO., LTD.

設立年月日 昭和17年5月27日
資本金 40億53百万円
従業員数 762名（連結：2,369名）
本社所在地 〒486-8666
愛知県春日井市愛知町1番地
電話 0568-31-1111

■役員の状況（平成29年6月29日現在）

代表取締役社長	佐藤 徹
常務取締役	安藤 誠
常務取締役	小野 輝男
取締役	野々村 勝巳
取締役	細江 秀喜
取締役	杉山 博
取締役	宮川 利之
取締役	安藤 敏信
取締役	小林 和郎
取締役	加藤 忍
取締役(社外)	天野 望
取締役(社外)	大久保 仁
常勤監査役	山田 誠
監査役(社外)	松原 和弘
監査役(社外)	堀 雅寿

■株式の状況（平成29年3月31日現在）

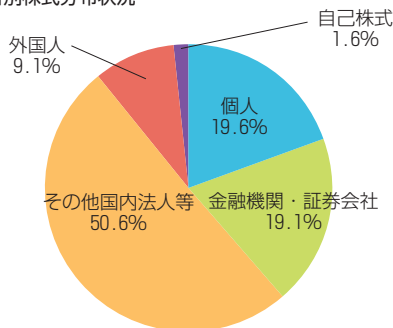
発行可能株式総数 23,912,200株
発行済株式の総数 9,650,412株
株主数 3,001名

大株主（上位10位）

	持株数（千株）	出資比率（％）
中部電力株式会社	2,326	24.5
TSUCHIYA株式会社	1,000	10.5
古河電気工業株式会社	807	8.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	446	4.7
ピー・エイチ・フォー・フィデリティロー・プライド・ストック・ファンド（フィナンシャル・オール・セクター・サポーター・アリオ）	334	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	303	3.2
株式会社川口興産	200	2.1
ノーザン・トラスト・カンパニー・エイブイ・エフ・シー・リ・フィデリティ・ファンズ	180	1.9
明治安田生命保険相互会社	175	1.8
株式会社三井住友銀行	175	1.8

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
注2. 出資比率は自己株式（153,965株）を控除して計算しています。
注3. 平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 名古屋市中区栄三丁目15番33号
照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.aichidenki.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、名古屋市中において発行する中日新聞に掲載して行います。

1 単元未満株式（100株に満たない株式）の 買取・買増制度のご案内

ご所有の1単元未満株式を当社に買取または買増請求できる制度があります。ご希望の株主様は下記「各種お手続きのお申し出先」にお申し出ください。

各種お手続きのお申し出先

（お名前・ご住所の変更、単元未満株式の買取・買増等）

証券会社に口座を開設されている株主様

→お取引先の証券会社にお申し出ください。

証券会社に口座を開設されていない株主様

→三井住友信託銀行にお申し出ください。

未払い配当金の支払について

三井住友信託銀行にお申し出ください。

確かな技術で未来をひらく

よい物を創る、よい人を創る、よい関係を創る、価値ある会社

 **愛知電機株式会社**
AICHI ELECTRIC CO., LTD.

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。